

【別紙8】

表6 明治44(1911)年竹島漁獵合資会社から出荷された竹島の生産品(海産物)

商品	出荷月日	数量	出荷先等	備考
塩皮 牡	8月29日	24枚	不明(大西丸に積込)1)	6/29入荷3枚、8/25入荷21枚
塩皮 牝	7月1日	24枚	島根県内務部	6/29入荷229枚のうち24枚(特別製皮)
塩皮 牝	7月15日	260枚	伯耆境港中村常太郎2)	5/4入荷6枚、6/4入荷49枚、6/29入荷229枚のうち205枚 境港の中村商店から大阪へ運ばれたと考えられる
塩皮 牝	8月29日	45枚	不明(大西丸に積込)	4/10入荷2枚、8/25入荷43枚
塩皮 乳仔	7月15日	85枚	伯耆境港中村常太郎	6/2入荷27枚、6/29入荷58枚 境港の中村商店から大阪へ運ばれたと考えられる
塩皮 胎仔	7月15日	58枚	伯耆境港中村常太郎	5/4入荷3枚、6/2入荷10枚、6/29入荷45枚 境港の中村商店から大阪へ運ばれたと考えられる
海馬油	7月1日	66箱	横浜平沼横浜魚油株式会社	6/29入荷67箱のうち66箱
海馬油	7月1日	1箱	伯耆境港中村市太郎商店	伯耆境港中村市太郎商店を継ぐ
海馬油	8月29日	24箱	不明(大西丸に積込)	6/29入荷67箱のうち1箱 8/25入荷24箱、内3箱は下等品
肥料 乾肉	6月4日	9俵(3梱)	伯耆境町中村市太郎商店	6/2入荷9俵、重さ80貫400目 6/29虫の発生のため、境町中村商店より返品あり
肥料 乾肉	6月29日	9俵(3梱)	五箇村久見橋岡友次郎	境町中村商店より返品分
肥料 乾肉	8月7日	38俵(10梱)	伯耆境町中村市太郎商店	6/29入荷42俵のうち38俵、重さ320貫500目
肥料 乾肉	8月7日	2俵	五箇村久見橋岡友次郎	6/29入荷42俵のうち2俵、重さ66貫900目
肥料 乾肉	9月11日	8俵	伯耆国境町中村市太郎商店	6/29入荷42俵のうち2俵、8/25入荷6俵 重さ218貫800目
肥料 骨	4月21日	莖包11箇	伯耆国東伯郡小鴨村大字中河原 中井喜一郎3)	4/10入荷莖包11箇、重さ197貫800目 高梨回漕店に託して、隠岐丸に積込み
副産 乾鮑	6月3日	6箱(石油函)	柘岡治三郎4)	6/2入荷6箱、重さ198.6斤
副産 乾鮑	6月29日か	1箱	柘岡治三郎	6/29入荷1箱、重さ30斤
副産 乾鮑	8月28日	4箱半	柘岡治三郎	8/25入荷4箱半、重さ152斤
副産 海苔	5月4日	1俵	中井養三郎	5/4入荷1俵、時期遅れのため品質劣となる、紫色を呈す
副産 和布	5月4日	32把	北村徳蔵	5/4入荷34把のうち32把、重さ232貫840目
副産 和布	5月4日	2把	中井養三郎	5/4入荷34把のうち2把
副産 和布	6月4日	21把	西郷中町山田屋	6/2入荷21把、重さ116貫100目
副産 乾魚	5月4日	100本(1梱)	境中村商店	5/4入荷800本のうち100本、北村徳蔵より送る
副産 乾魚	5月10日	5梱	伯耆境港中村商店	5/4入荷800本のうち700本、重さ72貫500目
副産 乾魚	6月3日	12俵	柘岡治三郎	6/2入荷12俵、重さ133貫700目
生海馬	6月8日	2頭親子(牝、乳仔)	神戸兵庫大開通1丁目中田和平5)	6/2入荷2頭、境港で引き渡す
副産 玉子	6月11日	5箱(石油函)	中井養三郎	6/2入荷5箱、若干は他へ売却する

資料:島根県立図書館所蔵『竹島資料7』所収『明治四十四年 生産品勘定帳 竹島漁獵合資会社』

:伯耆境港中村市太郎商店へ送付された生産品

- 1) 大西丸:石油発動機付西洋型遠洋漁船、13トン、47馬力
明治44年8月31日、中部千島におけるアシカ漁業を開始するため、西郷港を出港した
- 2) 中村市太郎が正しいと考えられる
- 3) 中井喜七郎(中井養三郎の兄)が正しいと考えられる
- 4) 西郷西町の海産物商
- 5) 動物商